



私のひとりごと

上を向いて歩こう

今年もいよいよ押し迫り、最後のニュースレターとなりました。この一年、お付き合い頂き有難うございました。さて、今年も色々な事がありました。建築業界に限って振り返れば、3月11日の震災以降、建築資材工場の倒壊や仮設住宅の建設で、資材がまったく手に入らない日が何カ月も続きました。商社や工務店どうしの横の繋がりで、何とか切り抜けるという貴重な経験でもありました。また、各企業は労働賃金の高い国内に見切りをつけ、タイ国などに工場を建設し生き残りを賭けていますが、ご存知の様にタイの水害により工場は停止し、品物によっては在庫も底を尽き、随分納期がかかることもあります。まさに、踏んだり蹴つたりの状態。唯一、”助け合い”というキーワードが日本中に広がったのが明るいニュースでした。ここまで来ると、色々な出来事は神様からのメッセージと思わざるをえなくなる……。

話は変わるが、我が家には猫が三匹……いや三人いる（猫扱いすると家内の機嫌が悪くなるんです(>_<)）。ご多分にもれず、家内にとっては、私より大切な家族であるが、コタツに入りうたた寝をするという、猫らしい猫である。ところが、会社の前にある喫茶店で飼っている猫は、外で飼われているせいか、木枯らしが吹く日でも舞い散る落ち葉を追いかけまわし元気に走り廻っている。”猫はコタツで丸くなる”の言葉とは無縁のようである。ますます先行きが見えなくなる時代と言われるが、無闇に先案じするよりも、この猫のように、与えられた環境を受け入れるほうが生きやすいのかもしれない……。



とは言うものの、嬉しい時は嬉しく、悲しい時は悲しいのである。いつも前向きに歩いているばかりではなく、むしろ心倒れそうになる事も多い。そんな時、私には心の支えとしているHONDAの創設者である本田宗一郎の名言がある。少し男臭い言葉である事をお許し頂き、今年最後の言葉と代えさせて頂きたい。

成功者は、例え不運な事態に見舞われても

この試練を乗り越えたら

必ず成功すると考えている

そして、最後まで諦めなかった人間が

成功しているのである。

本田宗一郎

ではまた来年もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき……、

あーがしう
ございました!!

